

# ぽっぽ 46 号 新春お年玉〇×クイズ

## 正解

1	○	4	×
2	×	5	○
3	○	6	○

## 解説

① 昔の鏡に由来します。昔の鏡というのは丸い形をした銅鏡ですが、古くは弥生時代から使われた三種の神器の一つでもあります。鏡は、日の光を反射し太陽のように光ることから、日本神話で太陽の神様とされる天照大神に見立てられ、神様が宿るものと考えられるようになりました。

② 書初めとは、年が明けて新年に始めて毛筆で字を書く行事をいいます。現代では、新年の抱負や目標をしたためるものとして行うことが多いですね。何故？1月2日におこなうのでしょうか？昔の農家や商家は1月2日から仕事を始めたことから、1月2日が事始めと言われています。その1年の事始めの日に書初めをすることが定着してきました。

③ そもそも富士山、鷹、茄子にまつわる夢がなぜ縁起がいいのか。

由来は「徳川家康がこの3つを好んでいたから」徳川家康のお膝元で  
あった駿河国で高い物の順、富士は日本一の山、鷹は賢くて強い鳥、  
なすは事を“成す”など諸説があるそうです。さて一富士二鷹三茄子  
の続きは、「四扇（しせん、しおうぎ）五煙草（ごたばこ）六座頭（ろ  
くざとう）」だそうです。

④ 鏡餅の上に乗せるのはみかんではなく「橙（だいだい）」という名  
のかんきつ類」木から実が落ちずに年を越すことから「代々」となり、  
縁起が良い果物とされている。

⑤ 雑煮に使われる餅は、「東の角餅、西の丸餅」といわれるよう、  
東日本ではのし餅を切った四角い角餅、西日本は丸い小餅を食べる  
ことが多いとされる。雑煮の発祥の地である京都では餅について一  
つ一つ手で丸める丸餅が主流である。東日本の食の中心的役割は江  
戸が担うことが多かったのであるが、江戸で角餅文化が広まったの  
にはいくつか説があると言われている。將軍がいる江戸では「敵をの  
す」という意味でのし餅が使われるようになったとも言われている。  
また人口の多い江戸では、かまどが一つしかない長屋住まいの人は  
餅について丸める余裕がなかったため、手早く大量に作れるように  
とのし餅を作り一気に切って角餅にしたとも言われている。

⑥ 引いた後のおみくじを神社の境内にある木の枝に結びつけると  
いう習慣は、「結ぶ」が恋愛の「縁を結ぶ」に通じるからという意味  
で、江戸時代から行われていたようです。おみくじ結びつける場所は、  
必ずしも木の枝とはかぎりません。最近では、木の枝に結ぶとその木  
の生育が悪くなるということで、おみくじのための専用の場所を用  
意している神社が増えています。